

1 目的

日常の療養、急変時、入退院時、看取りの4場面及び災害時における連携ルールや手順等の理解を深め、医療・介護・障がい関係者等の情報共有を推進する。

2 活動方針

- (1) 高岡多職種ネットの普及啓発を図り、システム利用者間で情報共有・連携を行うことで、より対象者の状態に応じた医療・介護・障がい福祉サービスを提供する。
- (2) ICTによる業務効率化により、医療・介護・障がい等従事者の負担軽減を図る。
- (3) 入退院時（病院から在宅、在宅から病院への引継ぎ）等、医療・介護・障がい関係者の連携がより円滑となるよう、連携のためのルールや情報共有の手順等に係る手引きを策定する。

3 指標（案）

- (1) 高岡多職種ネット登録施設数、利用者数、患者登録数

	登録施設数	利用者数	患者登録数
令和6年度当初	180 施設	800 人	417 件
令和6年10月10日現在	248 施設	1,059 人	525 件

- (2) 高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者数
- (3) 高岡多職種ネットを活用することで多職種連携が効果的に図れていると思う人の割合（「在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査」における質問「多職種ネットを活用することで、多職種連携が効果的に図れていると思うか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合（R6年度） 92%）
- (4) 研修会に参加して理解が深まったと思う多職種の人割合（「高岡市在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係る研修会参加者アンケート」における質問「研修会に参加して理解が深まりましたか。」に、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した人の割合）
- (5) 多職種共通の情報共有ツール導入後の多職種の人満足度

4 会議の報告及び予定

	日時	会場	協議事項(予定含む)
第1回	6月27日(木) 13時～14時10分	高岡市役所 801 会議室	(1)活動計画及び評価指標案の検討（上記のとおり） (2)高岡多職種ネットの普及啓発及び活用方法について ・登録患者及びシステム利用者の実際の活用状況について把握する必要がある。 ・災害時の情報提供の部屋を開設してはとの意見あり。 →令和6年7月より、部屋開設済み。 ・高岡多職種ネットは、ZOOM 機能を活用したカンファレンスが可能であることについて、周知が必要

			<p>(3)各分野での情報共有の課題について意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の関係機関が関わる場合、情報共有に多くの時間を有することがある。 ・在宅患者の急変時の対応や休日に退院された場合のケアマネジャーの情報共有が難しい。
第 2 回	10月10日(木) 13時～14時	高岡市役所 802 会議室	<p>(1)在宅医療・介護・障がい支援分野の連携推進に係るアンケート調査結果について（報告）</p> <p>(2)アンケート結果における課題解決に向けた協議、取り組み内容の検討</p>
第 3 回	12月12日(木) 13時～14時	高岡市役所 803 会議室	<p>(1)課題解決に向けての協議</p> <p>(2)次年度の計画の方向性の検討</p> <p>情報共有のマニュアルの内容についての協議</p>